

～学校・保護者・地域をつなぐ学校だより～

椿キッズ

We are Tsubaki-kids.

第5号

鈴鹿市立椿小学校

Tel. 059-371-1014

令和2年5月25日

5月21日から登校が始まりました！



密をさけた機の配置

子どもたちの元気な声が本校にもどってきました。やはり、子どもたちの声が響いてこそこの学校です。5月中は、21日（木）、25日（月）、27日（水）、29日（金）の登校となります。（市内小学校は5月末までに4回の登校）6月からは、毎日の登校となります。

しかし、今後、新型コロナウイルス感染拡大の第2波、第3波が来ないとも限らず、感染予

防のため、子どもたちには、いろいろな我慢、また、教員には、様々な配慮が求められます。しばらくは、“新しい学校の生活様式”を身につけて過ごさなければなりません。

“新しい学校の生活様式”

登校再開にあたって、朝一番に、各学年の教室と保健室の養護教諭（保健担当）をオンラインで結んで「正しい手洗い」について学びました。（上の写真）石鹸を使った正しい手洗いで、子どもたちは「ウイルスは10万個から数個に減る」という話を聞きました。そのためか、休み時間からもどってくると、しっかりと手洗いをしていました。今後、5月中に3回ある登校日に、「3つの密」「咳エチケット」「抵抗力」をテーマに、リモートで学んでいこうと思います。

給食配膳、音楽の合唱やグループの活動は、今後、鈴鹿市から配布されるフェイスシールドを活用していきたいと考えています。

しばらくは調理実習や器楽の学習も行わないことなど、その他たくさんの制約があります。（鈴鹿市教育委員会感染症対策マニュアルによる）

以前に比べると窮屈な学校生活となりますが、それでも学校で友だちと一緒に学習する子どもたちの表情は輝いていました。新型コロナウイ

ルスの感染が収束するまでは、この“新しい学校の生活様式”に子どもたちとともに慣れていくしかありません。また、ご家庭にもご協力をお願いすることも多々あるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。



フェイスシールド

「ピンチをチャンスに！」 6年生に聞いてみました

臨時休校中の5月8日に、6年生に次のような宿題を出しました。

新型コロナウイルスの感染がどこまで続くのかとても心配です。日本も世界も大ピンチです。しかし、このような「ピンチ」のときこそ、ピンチを「チャンス」に変える考え方がとても大切です。6年生のみなさんにピンチをチャンスに変える考え方を聞きたいと思います。

【6年生の意見より】



- ピンチをチャンスに変えるために、自主練をがんばる。
- 家事のてつだいをすることによって、自分が知らなかった事も学べるし、しょうらいにも役立つからいいと思います。
- 今のうちに、予習や自習をするとピンチがチャンスにかわるとおもいます。理由は、長い期かんがおわって6年生のべん強がはじまったら、予習をしておくで、べん強がすらすらすすめられるからです。

- この休みのときに、べん強をおぼえる。かしこくなれるから。
- この長い休みの期間、好きなことをのばしたり、苦手なことにチャレンジしたりすれば、自分の能力を高めることができると思う。
- いつもよりいっぱい体をうごかす。理由は、体力がつくから。
- 自分のしたい事をぞんぶんに楽しむチャンスではないかと思ひます。

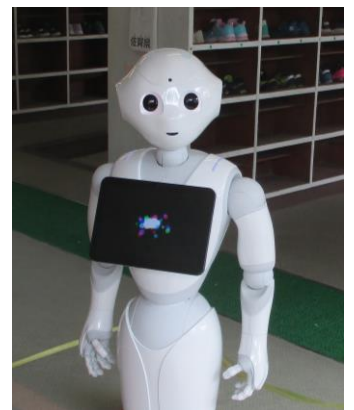
6年生なりにいろいろ考えてくれました。「ピンチをチャンスに変える」ということは、なかなか難しいことですが、長い将来の中で、来るかもしれないピンチのために、このような発想を持っていることはとても大切なことだと思ひます。

ペッパー君登場！

プログラミング学習のために、6月中旬まで、教育委員会から“ペッパー君”を借りています。椿小学校作成の動画で、ラジオ体操をするペッパー君を見たことがあるかもしれません。

ペッパー君は、プログラムした通りに動いてくれます。(残念ながら、まだ、AIを搭載していないので、自分で考えることはできません)

現在、登校してきた子どもたちと一緒にあいさつ運動をしています。子どもたちに大人気です。



これ何だかわかりますか？「パンダストップマーク」です！



臨時休校中、PTAさんに、止まって安全確認してほしい通学路の交差点に、このマークを新たに30枚ほど貼っていただきました。このマークを見たら、「とまれ みぎをみて ひだりをみて」という習慣をつけていきましょう。ありがとうございました。